

発議第8号

庁舎整備特別委員会の設置について

伊賀市議会委員会条例(平成16年伊賀市条例第291号)第6条第1項の規定により、「庁舎整備特別委員会」を次のとおり設置しようとする。

平成25年6月26日提出

提出者 伊賀市議会議員

生中 正嗣

市川 岳人

福岡 正康

稲森 稔尚

上田 宗久

中井 洸一

中谷 一彦

森岡 昭二

記

- 1 委員の数 8名
- 2 調査事項 市民の安心・安全な暮らしを支える庁舎の整備に関して、長期的展望に立った計画となるよう、利便性を勘案した位置や規模、資金計画をはじめ、本庁と支所のあり方等について調査を行う。
- 3 常任委員会との調整
調査にあたっては関係する常任委員会と連絡調整する。
- 4 調査期間 2の調査事項を終了するまで、閉会中もなお継続して調査を行うことができるものとする。
- 5 提案理由 市が進める庁舎整備について、議会として市民の安全・安心な暮らしを支え、市民の利便性を追及した計画となるよう調査、研究するため。

発議第9号

風疹の予防接種費用に公費助成を求める意見書（案）の提出について

風疹の予防接種費用に公費助成を求める意見書（案）を次のとおり提出しようとする。

平成25年6月26日提出

提出者	伊賀市議会議員
	上田 宗久
	赤堀 久実
	木津 直樹
	田山 宏弥
	前田 孝也
	安本 美栄子

記

風疹の予防接種費用に公費助成を求める意見書（案）

国立感染症研究所感染症情報センターは今年の風疹の患者報告数が平成25年5月8日時点で5,964人（うち三重県は32人）と発表しました。この数は昨年1年間の患者数に比べ既に約2.5倍に上り、今後も増え続けると懸念されています。今後の流行・拡大を防ぐためにも予防接種を受けることがこれまで以上に重要となってきます。

現在、定期接種の対象は1歳児（第一期）と小学校入学前1年間（第二期）です。しかし現在流行の中心となっているのは、患者数の約8割近くを占めている男性、特に20代～40代の人たちです。この世代は未接種者が多い世代と言われています。また男性患者から妊娠初期の女性に風疹が罹ると、胎児に先天性風疹症候群の障害が出る恐れがありますが、平成24年以降先天性風疹症候群は全国で10人に発生しています。こういった現状の中、妊娠前に予防接種を受けることが重要視されています。

以上の現状を踏まえ、下記の事項について早急に行われるよう要望します。

記

- 一、予防接種未接種者が予防接種を受けるために必要な措置を講じること
- 一、県や各自治体が行う公費助成等に対し財政措置を講じること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年6月26日

三重県伊賀市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣
総務大臣
財務大臣
金融担当大臣 宛